

2023年6月20日

出場団体各位

公益財団法人日本太鼓財団

第25回日本太鼓ジュニアコンクール演奏の審査講評について

このたび、第25回日本太鼓ジュニアコンクールの演奏に関する審査講評を下記の通りまとめましたのでお知らせいたします。

今大会は、地元主管団体等との協議の結果、4年ぶりとなる有観客開催となりました。全国の34支部及び地区コンクール（北海道・東北・九州）並びに、台湾での予選を勝ち抜いた代表44団体に、ブラジルと前年度優勝団体が参加し、石川県金沢市・金沢歌劇座において1,400名を超える観客を前に開催されました。さらに、今年も大会の様態をインターネットによりライブ配信したことにより日本国内のみならず世界各国においても多くの皆様に観て頂くことができました。

この講評内容は、審査委員8名の評価に加え、技術委員6名が演奏技術と課題曲における正確さや表現力、また自由曲における創造性などを、大会後の技術委員会で取りまとめたものです。各団体がこの講評を参考に、今後も益々精進されることを期待しております。

記

1. 総評

(1) 今大会は、2019年3月に実施した第21回大会以来、4年ぶりの有観客での開催となりました。新型コロナウイルスの影響を受け、満足な練習も叶わず、不本意な演奏となった団体もあったかと思いますが、出場者の一生懸命な演奏は、甲乙つけ難いものでした。大会の成績に関わらず、全国大会に出場したことが優秀な証であり、各団体にとって大きな財産になることを確信しております。今後とも、結果だけにとらわれず、礼節を重んじ、他の団体の模範として活躍されますよう期待いたします。

(2) 課題曲に関しては、練習機会に恵まれない環境下でも、技術の向上が感じられたことは指導者を含む多くの方の協力によるものと敬意を表します。

ただ、楽譜を理解されていないと思われる団体が多く見られました。楽譜に指定されている強弱記号、アクセント、クレッシェンド等は指示通りに演奏してください。場合によっては減点、失格となる場合もありますので注意してください。

また、譜面通りの無難な演奏に終始した団体も多かったように思います。振りやアレンジを加えることが他団体との差別化にも繋がりますので、それぞれの団体で工夫されると良いと思います。

自由曲については、全体的にバチの振り、打ち手の呼吸が合っており、しっかりと音が出ていました。ジュニア世代の全国的なレベルの底上げがなされていることを改めて実感しました。一方、大きい音・強音に終始している演奏も見受けられました。小さい音・弱音とのバランス、また、中音を使用するなどの工夫も心掛けましょう。

2. 審査委員並びに技術委員について（五十音順・敬称略）

(1) 審査委員

審査委員長	大澤 和彦（財団理事長）
審査委員	大藏 基誠（能楽師）
	岡田 知之（元 公益社団法人日本吹奏楽指導者協会会長）
	高野 右吉（財団副会長）
	長谷川 義（財団会長）
	古屋 邦夫（財団技術委員会委員長）
	山田 正俊（一般社団法人日本マーチングバンド協会北陸支部支部長）
	山部 泰嗣（太鼓奏者）

(2) 技術委員

川原 邦裕、鈴木 孝喜、西川恵美子、長谷川 準、松枝 明美
安江 信寿

3. 演奏内容について

参考のため全出場団体の講評をお送りします。別紙の講評コメントを参照してください。

4. 審査結果について

優 勝・内閣総理大臣賞
準優勝・総務大臣賞
第3位
文部科学大臣賞
第4位・石川県知事賞
第5位・金沢市長賞

橘太鼓「響座」ジュニア（宮崎）
糸島二丈絆太鼓（福岡）
三代目源流（大分）
三代目源流（大分）
舞鶴一座 秋月鼓童（宮崎）
やまばと太鼓（秋田）

特別賞

石川県太鼓連盟賞
北國新聞社賞
浅野太鼓楽器店賞
石川県芸術文化協会賞
北陸三県太鼓協会賞
北陸放送賞
テレビ金沢賞
石川県観光物産館賞
金沢文化スポーツコミッション賞
宮本卯之助商店賞
諏訪響太鼓店賞
丸五賞
篠笛立平賞
ブラジル太鼓協会賞
台湾太鼓協会賞

信濃国松川響岳太鼓子供会（長野）
輪島・和太鼓 虎之介（石川）
葫蘆墩 Smile 太鼓團（台湾）
和太鼓サスケ（石川）
諫早天満太鼓（長崎）
富岳太鼓 風神組（静岡）
大和太鼓保存会 鼓天童子（佐賀）
ふじた傳三郎太鼓 童（岡山）
託東太鼓（熊本）
上州あずま太鼓会（群馬）
火の神乙女太鼓 爽（鹿児島）
源多良太鼓保存会「心(shin)」（富山）
新潟万代太鼓 鼓助（新潟）
信濃国松川響岳太鼓子供会（長野）
大和太鼓保存会 鼓天童子（佐賀）

以上